

# さわらび

2019. 9. 30 No. 15 文責：大塚

## がんばれ！ 職場体験学習・高校体験入学

明日から職場体験学習がスタートです。今まで体験先を決めたり、先方と電話連絡して直接打ち合わせに行ったりしてきました。

**2**年生。虎次君の体験先は、今までよく通ってきた場所～藤岡小学校。でも、児童として生活してきたのと、学校で働くという体験はまた違ったものがあると思います。ただ楽しいだけではなく、どういう工夫があるのか、どういうことに気をつけて職員の皆さんが仕事をしているのか。がんばって体験してきてください。

佑希君の体験先は、ゲオ四万十店。接客業という仕事は、人に直接関わる仕事です。体験する中で、あいさつをはじめとして、きっといろいろな発見や自分の普段の生活に関わる事柄もでてくるのではないのでしょうか。素早く動いて、元気よく、お店の売り上げ向上のために一生懸命がんばってください。

航聖君の体験先は、四万十学遊館。毎日、校長室前の水槽を気にしてくれて、淡水魚への餌やりをしてくれていますが、それを仕事として働いている方と過ごす2日間、どんな体験ができるのか楽しみです。一見、自然相手の仕事ではありますが、職員の皆さんとのコミュニケーションはとても大切です。がんばってください。

**3**年生。花奈さんは、高校体験入学です。これから自分の進む進路について考えて、いずれ決めていかなければなりません。そのときに自分の選んで進もうとしている進路が、自分に合っていることはとても大切です。最近是这样のことを、「マッチング」という言葉で表すこともありますが、成長していく中で何度もこういう場面に出会います。自分がどうしたいのか、どう学びをしたいのか……。考えるきっかけとして、体験入学でいろいろ見て聞いてきましょう。

## 教育実習始まる

実習生：福留あゆり先生(徳島文理大学文学部4年)

■本日からお世話になります。福留あゆりと申します。初の教育実習で慣れないことも多々ありますが、先生方からたくさん学びたいです。また、母校でもある藤岡中学校で実習ができてうれしく思います。3週間、どうぞよろしくお祈りします。

「教育実習に……」という依頼を受けたとき、「うちはすごく生徒数が減っていて……」という話もさせてもらって、それでも母校で実習をしたいという思いを聞いて、本校での実習を受け入れることにしました。子どもたちにとっても、福留先生にとっても、有意義な時間となるように取り組んでいきたいと思っています。

**今**日の1時間目は、

2年数学、3年社会でした。

2年生は、日常の事柄を関数とみなして考えることについての問題練習の日でした。「事柄を調べる方法や手順を説明する問題」「説明すべき事柄を判断し、その根拠を記述する形式」など、すべて全国学力・学習状況調査(全国学テ)の過去問を活用しての確かめです。教科書で学んだことを、全国共通の基準で確かめていくことは、全教科で大事にしていかなければならないことです。

また、3年生社会科は公民分野に入りましたので、憲法から始まって、現在は人権問題・人権侵害について学んでいます。どちらの教室も少人数ながら、自分のこととして捉えて自ら解いて考えての積み重ねを行っています。

また、1学期に行った「閉校記念誌」づくりに向けての卒業生インタビューを新聞形式にまとめたものを、階段踊り場に掲示しています。これらをもとにして、学校新聞づくりコンクールにも取り組んでいくことになっています。保護者の皆様・地域の皆様、どんどん中学校に来ていただき、生徒たちの作品もご覧ください。



## 講師を招いての予定(10月～)

■10/5(土)

「防災教育参観日」

講師：大方高校生徒／杉山高志さん(京都大防災研究所)  
中学生と歳の近い高校生に取組を聞いたり、一緒に学んだりします。その後、杉山さんからご自身の生き方・学び方にも触れながら防災教育の講演をしていただきます。

■1/25(土)

「人権教育参観日」

講師は現在調整中ですが、公開授業の後、小中一緒に講演や人権コンサートを聴く予定です。

■1/30(木)

「同時通訳を仕事としている方との英語体験授業」

講師：小熊弥生さん(フリー同時通訳者)  
世界的に有名な同時通訳者として活躍されている方です。「中学生と英語の授業を……」と本校に来てくださることになりました。